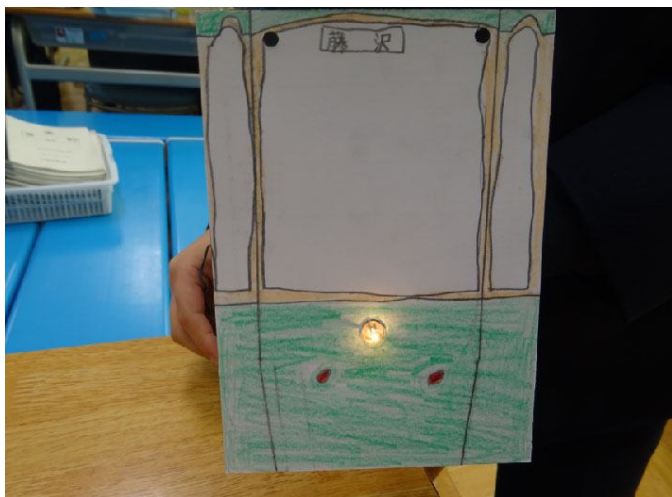


「超簡単!豆電球工作(5)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

色を塗ったセロテープを豆電球に巻きつけて、「色の付いた光」を出すことが、あつという間に大流行してきた。面白い子ども現象だと思う。



これは「**江の電の前照灯**」という作品。単に「江の電」ではなく、作品名にわざわざ「前照灯」というのがついているところが面白い。「前照灯」というのは「ヘッドランプ」のことだ。作者の男児の説明では「江の電の前照灯は、少し黄色いんです。江の電は商店街の中の道も走る区間があるからだと思います」ということだった。子どもなりのこだわりがあるようだ。



こちらは「**皆既月食**」という作品。地球の影と、付きの形の関係が、まったく意味不明なのだが、きれいだった皆既月食の感動を、「光る作品」として表現したかったのだろう。私は「先生が見た皆既日食とそっくりだよ」とほめてあげた。ニコリしていた。



これは「**赤鼻のトナカイ**」実際のトナカイの鼻は光らないが、クリスマス・ソングの歌詞にヒントを得たのだろう。ひたすらやさしく、愛らしい作品。



こちらは「**猛禽類**」という厳めしい名称の作品。猛禽類の中には、このように黄色い眼のものが多い。それが闇夜でキラリと光る様子を、うまく表現している。なかなか妖気漂う秀作だ。



活動が進むと、協働作品が増えてくる。「**信号機**」はその代表作だ。カラフルで子どもらしい作品だ。